



# サ ナ 通 信

## ◆発行 者

株式会社 サ ナ  
埼玉県所沢市東所沢和田 1-41-6  
TEL04-2946-2341

## ◆本社営業部

左記

## ◆東北営業所

岩手県一関市滝沢字  
矢ノ目沢 73-262  
TEL0191-26-3737

## ◆九州営業所

福岡県糟屋郡粕屋町  
上大隈 435-1  
TEL092-939-3716

## 《トピック》

### ★ 過曝気とは（症状と対策）～その1～

活性汚泥排水処理の管理において『過曝気』と判断される場合がありますが、一概に過曝気といっても様々なケースがあります。その時どのような現象が見られているのか、どんな対策があるのか、いくつかの事例をご紹介します。

#### ✓ ケース1.

SV 値が極端に良くなってきた。沈降良好と思い同じ運転を日々継続していると、数日後に沈殿槽の処理水が茶色または白色に濁り始めた。

#### 解説

低 BOD 負荷を伴っていることが多いケースです。

曝気槽において BOD 不足が継続すると、フロックの凝集を担っていた粘着性の代謝生産物が分解される事態に至ります。これによりフロックは凝集能力を失い、解体し微細フロックが発生します。これが処理水の濁りとなります。

この場合の「過曝気」とは流入 BOD 量に対し供給酸素量が多いということを示します。（負荷量に合った曝気が必要です）

#### チェック

（チェック項目が多いとその症状は低負荷過曝気によるものと考えられます。）

- SV 測定時に見る見るうちに沈む汚泥と、なかなか沈殿しない軽い汚泥とが混在している。
- 濁りのある処理水を濾紙で濾過すると非常にきれいな処理水が得られる。
- BOD 負荷量が減っている。
- 曝気槽 DO が高くなっている。

#### 対策

- ・ 曝気槽への曝気風量を減らし、DO は 1.0mg/l 前後に管理して下さい。
- ・ 間欠曝気を組み込み低 DO 時間を与えることで改善する場合があります。
- ・ フロックの再形成を促すため活性汚泥基礎栄養剤『SANA-BASE-5』のご使用をお勧め致します。

サナでは問題や心配を抱えられたお客様に安心をお届けするため、現場経験豊富なスタッフをスタンバイしております。お気軽にご連絡下さい。電話でのご相談、現場調査など、親身に対応させていただきます。